真生会皮膚科通信

第6号

発行人　花川 博義

おはだ

金属アレルギー

～皮膚病の意外な原因～

●金属アレルギーとは？

金属アレルギーには、アクセサリー、時計、コイン、革製品、セメントなどに含まれる金属が接触して皮膚炎を起こす接触アレルギーが有名です。それ以外に食べ物や歯科金属に含まれる微量金属が腸から吸収されることが原因で色々な皮膚病を起こすことも知られています。

●どんな皮膚病があるの？

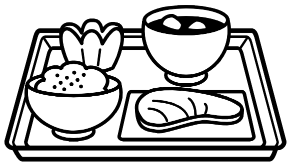
金属アレルギーが原因でおこる病気に、汗疱（手のひらにぶつぶつができる）、掌蹠膿疱症、貨幣状湿疹、痒疹、慢性湿疹、アトピーに似た皮膚炎などがあります。病院に長くかかっているけれど原因も分からず、薬を続けているという皮膚病の原因が金属アレルギーだったということもあるのです。

●どんな検査をするの？

パッチテストといって、金属の試薬を背中に二日間貼ります。二日後病院で判定をします。その間入浴できませんが、シャワー程度でしたら可能です。

●金属アレルギーの治療は？

アレルギーの体質を治すことはできませんので、アレルギーを起こす金属を避けるしかありません。例えば、ニッケル、コバルト、クロムのアレルギーのある方は、それらを多く含む食品を制限します。具体的には、豆類、木の実、玄米、麦、オートミール、ホウレンソウ、レタス、キャベツ、タマネギ、馬鈴薯、マッシュルーム、海草、カキ、鮭、ニシン、香辛料、紅茶、ココア、ワイン、ビール、コーヒー、チョコレート、タバコなどです。

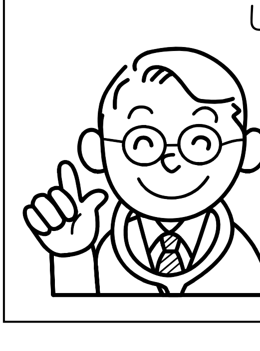


●歯科金属とは？

歯につめたりかぶせている金属のことです。パラジウム、金、水銀、スズなどを含むことが多いです。これらの金属にアレルギーがある場合、かかりつけの歯科の先生と相談してみてください。歯科金属のアレルギーがあるからといって、必ずしもそれが皮膚病の原因とは限りません。高いお金をかけて歯科金属入れ換えたのに、皮膚病は治らなかったということもあります。歯科金属の入れ換えは一つの選択肢として考えてください。

●食事制限も歯科金属の除去もできない場合は？

金属が腸から吸収するのをおさえる飲み薬がありますので、そのような治療法もあります。

●金属アレルギーについて興味が出てきました

素人判断で食事制限をするのは危険ですので、病院で検査してもらって、医師の指示にしたがって治療してください。